

行政改革推進委員会

【組織】

諏訪市行政改革推進委員会（庁外組織）

【根拠】

諏訪市行政改革推進委員会設置条例

第1条

社会情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現を推進するため、諏訪市行政改革推進委員会を置く。

第2条

委員会は、市長の諮問に応じて、市の行政改革の推進に関する重要事項を調査審議する。

【委員構成】

産業・女性・環境・保健・金融・福祉・教育
・学識経験者・子育て・防災 など、
幅広い団体から委員を選出

【任期】

2年間（R6.12.4～R8.12.3）

令和3年度までの行革の羅針盤 「諏訪市行政改革大綱」

【概要】

- ・ 行政改革に関する基本理念をまとめたもの
- ・ 現行は第六次諏訪市行政改革大綱（時点修正）
- ・ 行政改革推進委員会で諮問・答申

【計画期間】

- ・ 平成28年度～令和元年度までの4年間
- ・ 令和2年度～令和3年度延長（時点修正）

【進行管理】

- ・ 実績を行政改革推進委員会へ報告した後、市民へ公表を行い、行政改革を進行管理

令和4年度より 「第六次諏訪市総合計画」へ統合

	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度～
第五次 諏訪市総合計画 後期基本計画 (H29～R3)					
第六次 諏訪市総合計画 (R4～R8)					
第六次 諏訪市行政改革大綱 (H28年～R元)					

令和5年度から

庁内組織

行政改革推進本部

本部長：市長

副本部長：副市長、教育長

本部員：全部長職、一部の課長

業務スマート化推進委員会

委員長：副市長

副委員長：企画部長

委員：全部長・庶務担当課長等

スマート化部会（DX推進等）

公共施設マネジメント推進部会

マイナンバー制度部会等の専門部会

庁外組織

行政改革推進委員会

総合計画に基づく行政経営の施策方針、その他行政改革の推進に関する重要事項について審議する

行政改革推進委員会は、

★市政全体の羅針盤である「総合計画」

（令和4年度から5年間）に基づく

行政経営の施策方針

★その他、行政改革の推進に関する重要事項
について審議していただいています。

庁内組織

行政改革推進本部



業務スマート化推進委員会



専門部会

庁外組織

行政改革推進委員会



内部検証

総合計画
内部検証委員会

外部検証

総合計画
外部検証委員会

市民満足度調査

**社会情勢の変化に対応した市政の
実現に向けて、ご意見をお聞かせください。**

「総合計画」に定める基本方針のうち、

『行政資源の効果的活用』

『新時代行政への変革』

この2つの基本方針に関わる事項について、
幅広い分野から参画いただいた委員の皆様から
ご意見をいただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度 当初予算(案)の概要

諏訪市

令和7年度当初予算(案)のポイント

～新時代へ脱皮～ 魅力をみがく未来伸張予算

近年の社会情勢は人口減少や少子高齢化、世界的な原材料価格の上昇や円安の影響による物価高、深刻化する環境問題など著しい変化のなかにあり、諏訪市も例外ではありません。変化し続ける社会に対応するためには、これまでの常識にとらわれない柔軟さが求められます。

令和7年度は、諏訪市が新たな時代へ向かうための事業が動き始める年です。

明るい未来が勢いよく伸び広がっていくために、様々な困難を柔軟に乗り越え前進していくという決意を込めて、令和7年度当初予算（案）のキャッチフレーズを「～新時代へ脱皮～ 魅力をみがく未来伸張予算」といたしました。

一般会計総額226億8千万円（前年度比＋10億2千万円）

予算規模

過去最大の予算規模となっております。
借換債を除いた実質の予算額（226億5,650万円）でも過去最大の予算規模となっております。

新たな時代へ向けた大きな一歩を踏み出し、 魅力と活力にあふれる諏訪市へ

コンパクトシティの実現

都市をコンパクト化することで、安心・快適に生活できる都市環境や、地域経済の活性化、地域環境への負荷低減といった効果が期待されます。

文化センター大規模改修事業を筆頭に、上諏訪駅周辺の活性化や賑わい創出、上社周辺の風情を活かした街なみ環境整備など諏訪市全域を視野に入れたまちづくりを一体的に推進します。同時に、公共交通ネットワークの利便性を向上するA I オンデマンド交通が本格始動するなど、コンパクトシティの実現に向け実実に歩みを進めます。

子どもたちの“ゆめ”と“笑顔”の更なる追求

未来を創造していく子どもたちにとって重要なのは、豊かで健全な成長の場です。

公立保育園の適正規模・適正配置及び民間活力活用を示した「“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プラン」に基づき行う保育園の長寿命化改修や、令和7年度からいよいよ始動する「未来創造ゆめスクールプラン」に基づいた南部地区における小中一貫教育学校の整備を通し、将来を見据えながら子どもたちの成長をサポートします。

民間活力の導入と活用

民間活力を導入することで、民間企業のもつノウハウや専門性を活かし、より柔軟な施設運営を目指します。かたちを変えても“食”を支える新市場へ。もっと楽しめる霧ヶ峰高原へ。

民間活力の活用により、更に活気ある施設運営を目指します。

コンパクトシティの実現

文化センター大規模改修事業

文化財的価値の保存と活用を図りつつ、上諏訪駅周辺の賑わい創出と防災機能向上を実現



上諏訪駅周辺まちなか再生推進事業

官民連携による上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョンの実現—まちの活性化と課題解決



上諏訪駅西口広場整備事業

快適な滞留・滞在の場の創出、様々なモビリティ利用への対応など、まちのエントランス空間として相応しい駅前広場を実現



AI オンデマンド交通運行事業

“ちょいソコかりんちゃん”の本格運行を開始し地域公共交通に対する様々なニーズに柔軟に対応

街なみ環境整備事業

歴史的・文化的資産の豊かな諏訪大社上社本宮周辺地域において、風情のある街路や景観的魅力のある街並みを整備



庁内に新組織を設置

新たに「まちづくり整備課」を設置し、次世代を見据えた複数のまちづくりプロジェクトを一体的に推進

子どもたちの“ゆめ”と“笑顔”の更なる追求

未来創造ゆめスクールプランの推進

新しい時代の学びを実現し、子どもの豊かな心を育む環境を整えるための南部地区における施設一体型小中一貫校の整備が始動



“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プランの推進

未来に向けた子どもの豊かな育ちに資する適正規模・適正配置・民間活力活用による保育最適化を進めるとともに、現に保育を利用している子どもの保育環境整備を推進

民間活力の導入と活用

民間による新市場の運営

生産者と消費者を結び、食の安定的な供給機能を継承する民間による新市場の運営を開始



霧ヶ峰リフト・キャンプ場における民間活力の導入

民間事業者の創意工夫による令和8年度からの事業運営を目指し、指定管理者制度へ移行するための準備を実施

第六次諏訪市総合計画 重点目標 の実現を目指して

充実したしごと創出 — 稼ぐ地域・働ける地域 —

経済活動の生産性向上を支援

諏訪平土地改良区農地基盤整備事業
アニメ「逃げ上手の若君」を活用した観光
生産性向上事業
経営力再構築・DX推進伴走型支援事業
新技術・新製品開発費補助金



高付加価値製品の開発を支援

新技術・新製品開発費補助金
産業連携事業補助金
SUWAデザインプロジェクト事業



働きやすい環境整備を支援

雇用促進奨励補助金
中小企業者奨学金返済支援制度応援補助金
ウェルビーイング経営推進事業補助金



人と投資を呼び込む — 一人の流れを地方に —

諏訪市の魅力向上を目指して

諏訪市観光グランドデザイン関連事業
空店舗等活用事業補助金
温泉事業経営戦略策定事業
文化センター大規模改修事業
上諏訪駅西口広場整備事業



関係人口・定住人口増加を目指して

ふるさと寄附金事業
移住交流促進事業
駅前交流テラスすわっチャオ管理運営事業

みんなに愛のあるライフステージ実現

— 結婚・出産の希望をかなえる —

新婚新生活住まいの補助金
産後ケア・産後サポート事業
すわっぷりの機能拡充
育休退園制度の見直し
こども家庭センター事業



気持ちいい、心地いいまちづくり

インフラの充実

下水道老朽化対策事業
道路改良・道路舗装新設修繕事業
国道20号諏訪バイパス推進事業
街なみ環境整備事業
上諏訪駅西口広場整備事業



住民同士のつながり・地域共生社会の実現

福祉ボランティアの街づくり事業
重層的支援体制整備事業(準備事業)
がんばる地域支援金
SUWAを磨くまちづくり支援金

災害リスクへの備え

ハザードマップ・地域防災計画改訂
地域防災力向上支援事業
災害用備蓄事業
下水道総合地震対策事業
自然災害防止事業



健やかな暮らしの実現

介護保険事業
健康すわプラン2026策定事業
諏訪赤十字病院補助事業
休日在宅当番医制運営事業

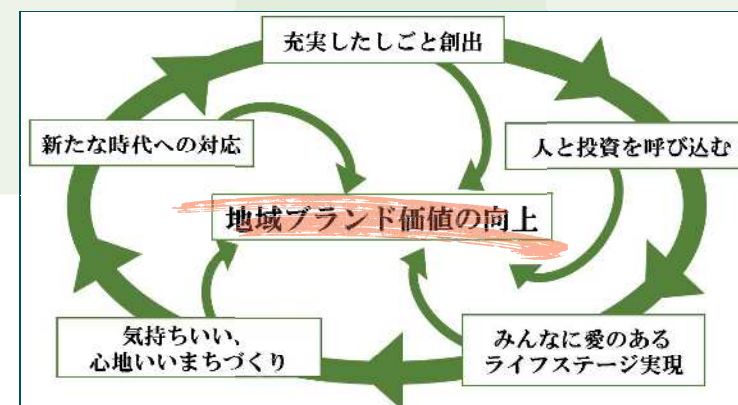


新たな時代への対応

ICT教育推進事業
2050ゼロカーボン事業
市庁舎照明LED化事業
防災システム・防災行政無線運用事業
職員採用の強化
業務スマート化プロジェクト
住民票等の法人請求オンライン化
境界立会関連資料電子化事業
議会ICT化推進事業



地域ブランド価値の向上



第六次諏訪市総合計画の重点目標の一つである「地域ブランド価値の向上」は、諏訪市が行うすべての取組と関連し、また、他の5つの重点目標の実現によっても、もたらされるものです。

私たちは、令和7年度予算案に込めたすべての「思い」を「かたち」に変え、諏訪市のブランド価値を向上させることを目指します。

基本方針別主要事業 目次

【福祉】	基本方針①	子ども・子育て・・・・・・・・・・	20
	基本方針②	地域福祉・・・・・・・・・・	22
	基本方針③	障がい者福祉・・・・・・・・・・	23
	基本方針④	高齢者福祉・・・・・・・・・・	24
	基本方針⑤	社会保障制度・・・・・・・・・・	26
	基本方針⑥	健康づくり・・・・・・・・・・	27
	基本方針⑦	地域医療・・・・・・・・・・	28
【学習】	基本方針⑧	学校教育・・・・・・・・・・	29
	基本方針⑨	地域教育・・・・・・・・・・	31
	基本方針⑩	生涯学習・文化芸術・・・・・・・・	32
	基本方針⑪	スポーツ振興・・・・・・・・・・	33
	基本方針⑫	文化財保護・活用・・・・・・・・	34
【環境】	基本方針⑬	環境保全・・・・・・・・・・	35
	基本方針⑭	森林保全・・・・・・・・・・	36
	基本方針⑮	環境衛生・・・・・・・・・・	37
【インフラ】	基本方針⑯	道路整備・計画・・・・・・・・・・	38
	基本方針⑰	都市空間・・・・・・・・・・	39
	基本方針⑱	上水道・下水道・・・・・・・・・・	41
	基本方針⑲	温泉・・・・・・・・・・	42
	基本方針⑳	地域公共交通・・・・・・・・・・	43
【産業】	基本方針㉑	工業・・・・・・・・・・	44
	基本方針㉒	観光・・・・・・・・・・	45
	基本方針㉓	商業・流通・・・・・・・・・・	47
	基本方針㉔	農林漁業・・・・・・・・・・	48
	基本方針㉕	雇用・スタートアップ支援・・	49
【防災】	基本方針㉖	防災・危機管理・・・・・・・・・・	51
	基本方針㉗	安心生活・・・・・・・・・・	53
【参画協働】	基本方針㉘	まちの賑わい創出・・・・・・・・	54
	基本方針㉙	多様な市民の参画・・・・・・・・	55
	基本方針㉚	持続可能な地域・・・・・・・・	56
【行政経営】	基本方針㉛	健全財政・・・・・・・・・・	57
	基本方針㉜	スマート化・・・・・・・・・・	58
	基本方針㉝	広域連携・・・・・・・・・・	60

【行政経営】基本方針③ 健全財政 『行政資源の効果的活用』



持続可能で魅力ある諏訪市を目指すため、社会情勢の変化に的確に対応した組織づくりや人材確保・育成を進めるとともに、税の適正課税・適正収納、自主財源等の歳入確保に努め、市民ニーズを捉えた事業を展開するなど、限りある行政資源で最大限の効果を発揮し、持続可能な行政経営を実現します。

土地開発公社健全化事業	財政課	事業費	1億9,610万5千円
「諏訪市土地開発公社の経営健全化に関する計画」に基づき、公社保有地の再取得を計画的に進め、公社経営の健全化と土地の有効利用を図ります。 令和7年度は、流通卸売団地用地の取得を予定し、これにより流通卸売団地用地の取得は完了する見込みです。	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	1億9,610万5千円

予算書P321 土地取得費

広告収入の増加に向けた取組	全庁	事業費	-
公用車や広報紙等に加え、市のホームページへのバナー広告の導入、しんきん諏訪湖スタジアムにおけるネーミングライツなどによる自主財源確保に努めています。	財源	補助金	-
		市債	-
		使用料等	-
		一般財源	-



拡充

職員採用の強化	総務課	事業費	56万6千円
公務組織を支える多様で有為な人材を安定的に確保するため、採用試験の通年実施により採用機会を拡大します。また、市職員の仕事に関心をもっていただけるよう、インターンシップメニューを増やし、市の業務の体験の場を提供していきます。	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	56万6千円

予算書P75 一般事業費(職員厚生費)

【行政経営】基本方針③② スマート化 『新時代行政への変革』



限られた人的資源で最大限のパフォーマンスを発揮し、市民サービスの向上を図りつつ行政サービスを提供し続けるための手法として、「業務スマート化」を推進していきます。そのために、社会構造等様々な変化を考慮し、ICTの導入と業務の抜本的な見直し等のDX（デジタルトランスフォーメーション）を実行していきます。

拡充

業務スマート化プロジェクト	企画政策課	事業費	1,859万5千円
電子申請サービス、汎用予約サービスの更なる活用により、各種手続きにおけるデジタル化を引き続き推進していきます。また、音声合成サービス「VOXX」（「きけるよ！」）、公開型GIS、キャッシュレス決済など市民の利便性向上に資するICTツールを積極的に活用していきます。 さらに、これらの活用により、職員の事務作業効率化を一層図るとともに、各種デジタル技術を活用し、更なるペーパーレス化の推進、アナログ規制見直し、職員の働き方改革を進めます。	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	32千円
		一般財源	1,856万3千円



予算書P77 業務スマート化推進事業費

新規

住民票等の法人請求オンライン化	市民課	事業費	-
住民票等の法人請求について、オンラインで行える環境を整え、行政サービスの向上や事務処理の効率化、ペーパーレス化の推進を図ります。	財源	補助金	-
		市債	-
		使用料等	-
		一般財源	-

ソーシャルメディアを活用した 情報発信強化事業	秘書広報課	事業費	94万6千円
年代を問わず利用率が高く、コミュニケーションツールとして定着したLINEを活用し、即時性のある情報発信を行っています。 希望する情報のみを受信できるセグメント配信や24時間対応可能なチャットボット機能等の活用により、必要なときに必要な情報が得られるよう積極的な発信を行います。 また、文字だけでなく画像を用いた、視覚的に分かりやすいリッチメッセージを活用するなど、伝わりやすい発信を行います。	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	94万6千円



予算書P93 広報広聴事業費

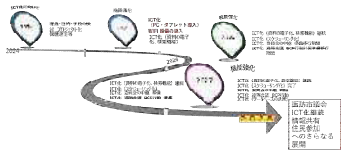
【行政経営】基本方針③② スマート化 『新時代行政への変革』



境界立会関連資料電子化事業	建設課	事業費	875万円
市が行った道水路境界立会について、境界立会地点のGIS化、境界立会記録のPDF化を行い、双方を統合型GIS上で結びつけて台帳化し、庁内で情報共有します。これにより、業務効率化及び窓口対応等の迅速化など市民サービスの向上を図ります。 	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	875万円

予算書P217 用地立会事業費

新規

議会ICT化推進事業	議会事務局	事業費	287万1千円
令和7年度より開始する「議会ICT推進基本計画」に基づき、ICTを効果的に活用し、議会の機能強化・議会力の向上を図ります。 令和7年度においては、タブレット端末を導入し、ペーパーレス化を推進するとともに、議員活動や職員の業務効率化等を図ります。 	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	287万1千円

予算書P69 議会ICT化推進事業費

新規

自治体情報システム標準化への対応	企画政策課	事業費	2億1,205万1千円
住民生活の基盤に関わる情報を扱う基幹システム（住民基本台帳、税、国保、福祉等）について、国が示す標準仕様書に合致したものに移行し、ガバメントクラウド上での運用に切り替えます。行政手続きのオンライン化を促進するための基盤環境整備として位置付け、更なるDX推進を図ります。 ※諏訪広域連合の介護保険システムの標準化対象経費（高齢者福祉課予算）を含む。	財源	補助金	2億1,205万1千円
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	0

予算書P77 電子計算機処理事業費

【行政経営】基本方針③ 広域連携 『圏域全体が連携してめざす諏訪の地域力向上』



今後も続く少子高齢化、人口減少の中で限りある行政資源を効率的かつ最大限活用し、必要な行政サービスを住民に届けるために、諏訪地域6市町村のつながりと広域的な視点を活かし、諏訪市の地域力のみならず、諏訪地域全体の地域力を向上させ、住みよい持続可能な社会を形成することを目指します。

公立諏訪東京理科大学との連携	教育総務課・商工課・ ゼロカーボンシティ推進室・ 企画政策課	事業費	47万5千円
大学の先生・学生の支援による、小中学校におけるプログラミング教育の実践ならびに小学生親子向けのゼロカーボン実験教室や学生と連携したゼロカーボン・環境保全活動、環境教育等の実施、大学のもつ研究技術（シーズ）と企業の経営課題（ニーズ）のマッチングを通じた新たな付加価値の創造、就職を見据えた学生による市内企業見学など地元大学と様々な分野で引き続き連携していきます。	財 源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	47万5千円



予算書P87 諏訪広域公立大学事務組合負担金

諏訪広域連合負担金	企画政策課	事業費	3,081万3千円
諏訪広域連合の経常経費に対して分担金を負担します。 6市町村職員の共同研修・人事交流の実施や、業務に用いる行政情報システムの共同調達など圏域の広域的連携によるメリットが最大化されるよう各種事業を推進します。	財 源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	3,081万3千円



予算書P85 諏訪広域連合負担金

介護保険特別会計負担金	高齢者福祉課	事業費	7億7,218万円
諏訪広域連合において6市町村共同で運営している介護保険事業に係る分担金を負担します。 広域連合が保険者として介護保険事業を運営することで、圏域住民が同じ負担で同じ水準のサービスを受けることができます。また、広域連合による運営によって生じる保険財政基盤の安定化、事務処理の効率化による経費削減を引き続き図っていきます。	財 源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	1,921万6千円
		一般財源	7億5,296万4千円

予算書P129 諏訪広域介護負担金



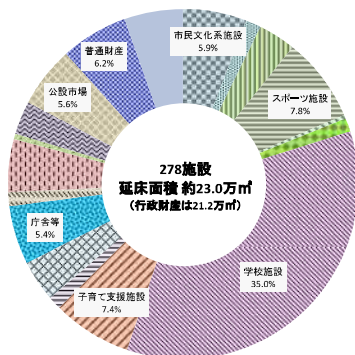
今、公共施設・インフラ施設の更新問題が起きています

これまで市では、多様な行政需要に対応するため、多くの公共施設やインフラ施設を整備してきました。これらの施設は、高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後一時的に建替え等が集中し、大きな財政負担となることが予想されます。

278施設・延床面積 23 万㎡

市が保有する公共施設の総量は、278 施設、総延床面積約 23 万㎡（諏訪湖スタジアムの敷地面積に換算すると約 6 個分）です。

■ 公共施設の総量



築 30 年以上は全体の約 6 割

市が保有する公共施設のうち、大規模修繕の目安とされる築 30 年以上の施設は、全体の約 6 割にも上ります。

多額の修繕・更新費用が必要

今後、これら公共施設が大量更新時期を迎え、大規模修繕や建替え等により、多額の費用が必要となります。

インフラ施設も更新が必要

さらに、道路・橋りょう・上下水道といったインフラ施設も老朽化が進み、修繕や更新のための費用が多くなることが懸念されます。

次世代に負担を残さないために「諏訪市公共施設等設総合管理計画」を策定

今後の少子高齢化や人口減少などにより、大幅な税収等の増加が見込めない中で、全ての公共施設やインフラ施設を現状のまま維持していくことは難しい状況となっています。

このような課題に対応するため、できる限り現在の機能を維持しつつ、次世代に大きな負担を残さない、安全かつ利便性の高い公共サービスの提供と持続可能なまちづくりを目指す「諏訪市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針 本編 p.24~25

現在、市が保有している全ての公共施設とインフラ施設を同じ規模で将来にわたり維持し続けていくことは非常に難しいと考えられます。そのため、必要なサービスは維持しつつも、以下の数値目標のもとで、資産総量の最適化を進めていきます。

数値目標：今後 10 年間で施設全体の総延床面積を **10%以上縮減**する

※建築物系公共施設のみで、長寿命化等の対策も合わせて実施

また、持続可能な公共サービスを行っていくために公共施設等の今後のあり方についての基本方針を策定しました。

【建築物系公共施設】

基本方針①：将来的な財政や人口規模に応じた施設総量の最適化

- 支出可能な財政規模と将来的な人口を考慮し、ムリ・ムダ・ムラを可能な限り排除しつつ、必要とされる市民サービスを見極め、現有施設の有効活用を優先事項とする
- 施設を更新する際は、用途の見直しや減築等を検討し、ランニングコストの縮減を視野に入れ施設総量を最適化することを基本とする

基本方針②：長寿命化の推進による維持管理経費の平準化と安全性の確保

- 適切な点検と維持管理を実施し、予防保全の考え方への転換を図ることで不具合箇所の早期発見につなげ、安全性を確保する
- 改修や修繕の優先順位づけを計画的に実施するなど、長寿命化を推進し、維持管理経費の確保と平準化を図る

基本方針③：施設の集約化や再編と効率的な運営の推進

- 利用実態を踏まえ、近隣施設との再編や同類型での集約化を検討し、新たなニーズへの対応を推進することによる利便性の向上を検討する
- 施設運営については民間活力を積極的に活用することを検討し、管理運営の最適化を推進する

【インフラ系公共施設】

基本方針①：長寿命化の推進によるライフサイクルコストの縮減

- 事後保全型から予防保全型の維持管理へ転換を図り、修繕の優先順位を決め、計画的な実施により、維持管理費の平準化を図り、長寿命化を推進する
- 他のインフラ施設との共同施工を実施することによりライフサイクルコストの縮減を目指す

基本方針②：安全確保と耐震化の実施

- 各施設の特性や緊急性、重要性を考慮し点検基準に準じた点検結果に基づき、耐震化を推進し安全確保に努める

本計画は、全庁的な公共施設マネジメントに関する基本的な方針を定めたもので、今後は、この計画に基づき、個別施設に関する詳細な検討・計画策定を行っていく予定です。

諏訪市公共施設等総合管理計画（概要版） 平成 29 年 1 月

諏訪市役所 企画部 企画政策課
〒392-8511 諏訪市高島 1 丁目 22 番 30 号 電話：0266-52-4141（代表）
E-mail：kikaku@city.suwa.lg.jp

市民文化系施設

○ 市民文化系施設の今後の方向性

- ・ 諏訪市公民館及び別館(旧働く婦人の家・勤労青少年ホーム)については、建物の再編に向けた計画を具体化していく。
- ・ 四条例館については、地域住民の生涯学習の拠点であり災害時の避難所でもあるため、屋根・外壁等の修繕を計画的に順次実施することにより長寿命化を図るとともに、トイレの多目的化や冷暖房機器の設置により利便性を向上させる工事を進める。
- ・ 諏訪市文化センターについては、耐震診断結果、保存活用計画に沿って改修工事を実施する。
- ・ すわっチャオについては、施設の維持に努める。

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
諏訪市公民館	集約化	公民館機能を他施設に集約し、解体する。
豊田公民館	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
四賀公民館	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
中洲公民館	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
湖南公民館	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
諏訪市文化センター	維持	耐震、設備更新、機能向上改修工事を実施予定。
公民館別館(旧 働く婦人の家・旧 勤労青少年ホーム)	集約化	H30年に公民館へ転換。機能を他施設に集約化し、解体する。
駅前交流テラスすわっチャオ	維持	令和元年取得。定期的な点検を行っていく。
旧守衛室	機能転換(完了)	R3年に社会福祉課へ移管、赤十字奉仕団資材倉庫に転換。

【学習】基本方針⑩ 生涯学習・文化芸術

『学びや文化芸術に、親しみ、活かし、つなぐ』



市民一人ひとりが文化や芸術に親しみ、生涯にわたり自発的に学び続けることは社会の一員として自立した個人を育むために、また豊かな人生を歩むために大切なことです。諏訪市の特色を捉えた学びがいつでもどこでも誰でもできること、地域課題の解決に活かせること、学びを通じて仲間を広げ、人と人とがつながることができる諏訪市を目指します。

芸術祭関連事業	生涯学習課	事業費	
		補助金	101万6千円
子どもから大人まで幅広い市民を対象に、芸術文化への親和性に関心を高めるとともに、文化センターを活動の拠点とした駅周辺の魅力向上に資するため、優れた文化芸術に触れる機会を増やします。令和7年度は、文化センター工事休館前最後の市主催事業として、数居が高いとされる日本の伝統芸能を身近に感じていただくため、演者によるミニ実演&トークショーを開催し、文化芸術活動の拠点としての機能をより一層高めるための布石とします。	財源	市債	0
		使用料等	0
		一般財源	101万6千円



予算書P279 芸術文化振興・生涯学習促進事業費

拡充

公民館集約化事業	生涯学習課	事業費	
		補助金	333万9千円
諏訪市公民館機能の円滑な集約化を目的として、受け入れ先となる四条例館の体制整備を図ります。土曜日の開館時間延長に加え、日曜日の隔週での開館を試行するとともに、駐車場確保対策として、四賀公民館に加え、湖南公民館利用者のための駐車場の借上げを実施します。	財源	市債	0
		使用料等	0
		一般財源	333万9千円



予算書P291 四館管理費

拡充

文化遺産に親しむ機会の提供と環境整備	生涯学習課	事業費	
		補助金	1,044万8千円
藩主墓所整備に対する理解を深めるため、高島藩主諏訪家に伝わった資料を紹介する特別展等を博物館で開催するとともに、美術館では、湖南出身で明治時代に諏訪ではいち早く洋画を学んだ原輝美を紹介する企画展など令和8年度の開館70周年に向け収蔵作品を重点的に展示し、全国に誇れる諏訪の文化遺産に親しむ機会をつくります。また、博物館では、来館者トイレの洋式化改修工事を実施します。	財源	市債	690万円
		使用料等	250万3千円
		一般財源	104万5千円



予算書P301 企画展経費(美術館費)

予算書P305 施設管理費(博物館費)

予算書P307 企画展経費(博物館費)

【学習】基本方針⑫ 文化財保護・活用 『諏訪の特色である文化遺産を守り、活かす』



諏訪市の特色である「文化遺産」を守り伝えることは、諏訪市で暮らす私たちのアイデンティティにつながり、まちの魅力につながります。また、市民が諏訪の特色や魅力に気づき、活かすことで交流人口の増加につなげることもできます。文化遺産の確実な保存と魅力が伝わるような整備と公開を土台として市民が文化遺産保護と活用の担い手となることを目指します。

新規

文化センター大規模改修事業	生涯学習課	事業費	4億5,885万4千円
上諏訪駅周辺エリアの一体的整備として、文化財的価値を保存しつつ文化芸術活動の拠点として賑わいを創出し、かつ防災機能を高め、利用者が安全に、安心して、快適に利用していただくための改修を行います。令和7年度は複数年にわたる大規模改修工事の最初の年として、建築工事に着手します。 このほか、緞帳のタペストリー化にも着手します。	財源	補助金	2億24万2千円
		市債	2億3,410万円
		使用料等	2,114万2千円
		一般財源	337万円



予算書P293 一般経費（文化センター費）

予算書P295 文化センター改修事業費

史跡整備等事業	生涯学習課	事業費	181万3千円
国史跡高島藩主諏訪家墓所について、文化財保護法に基づく適切な保存・活用を図るため、学術性を担保した計画的な整備を進めます。令和7年度は、令和6年度に策定する諏訪家墓所整備基本計画に基づき、第1期5か年のより具体的な整備計画を策定し、刊行した整備基本計画書をもとに事業周知を目的とした講演会を実施します。	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	181万3千円



予算書P279 文化財保護事業費

市内出土遺物保存処理事業	生涯学習課	事業費	310万円
小丸山古墳から出土した金属製品は、文化財としての価値が非常に高く、その保存のための酸化防止処理が急務となっているため、その処理を進めます。あわせて、価値の再評価に向け、指導委員会を開催します。	財源	補助金	155万円
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	155万円



予算書P283 埋蔵文化財整備事業費

スポーツ施設

○ スポーツ施設の今後の方向性

- ・ 4割以上(6箇所)の施設が建設から30年以上を経過し、計画的な改修・更新、さらに廃止・除却の検討が必要である。
- ・ 施設の利用状況や老朽化の進行状況等を総合的に判断し、施設の改修や更新を行っていく。
- ・ 耐震性に課題があるスポーツ施設については、「諏訪市建築物耐震改修促進計画」に基づき耐震改修を進めるほか、特に老朽化が著しく改修による費用対効果が見込めない施設については、他のスポーツ施設や同様の機能を持つ施設への機能移管や、廃止・除却を検討する。

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
武道館	集約化	他施設への機能移管を模索し、廃止・除却を検討する。
諏訪湖ヨットハーバー	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
弓道場	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
諏訪市体育館	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
元町体育館	集約化	他施設への機能移管を進め、施設の譲渡も視野に入れ廃止を検討する。
上川テニスコート	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
諏訪湖スタジアム	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
屋内ゲートボール場	維持	関連施策を注視しながら、当面は維持管理に努める。
霧ヶ峰陸上競技場	検討中	観光ランドデザイン及び高原活性化・再整備検討調査に基づいて、施設のあり方について検討する。
霧ヶ峰体育館	検討中	
霧ヶ峰グライダーふれあい館	検討中	
霧ヶ峰グライダーウイング車両格納庫	検討中	
清水町体育館	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
清水町野球場	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。

【学習】基本方針⑪ スポーツ振興 『誰もが気軽に楽しく親しめるスポーツ』



市民のスポーツに対する関心を高め、より身近に感じてもらうことで、誰もがそれぞれの年齢、体力、目的や興味などに応じてスポーツに親しむことができるようになり、生活の一部として楽しく気軽に取り組めるようになります。このような取組により、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指します。

新規

スポーツ施設整備事業	スポーツ課	事業費	1,522万4千円
スポーツ施設を安全で快適に利用してもらうために、個別施設計画に沿った改修や維持管理を実施します。 令和7年度は、集約化の方針を示している武道館について、柔道場機能を元町体育館に集約するとともに、解体に向けた設計業務を実施します。また、元町体育館はトイレの洋式化改修を行い、体育館機能の向上を図ります。	財源	補助金	0
		市債	1,240万円
		使用料等	0
		一般財源	282万4千円



予算書P315 施設管理費(体育施設費)
予算書P317 施設管理費(体育館費)

新規

長野県国民スポーツ大会関連事業	スポーツ課	事業費	341万1千円
令和10年に長野県で開催される第82回国民スポーツ大会に向け、準備を進めます。 令和7年度は、大会運営組織となる「諏訪市国民スポーツ大会実行委員会(仮称)」を設置します。 また、軟式野球競技の会場となるしんきん諏訪湖スタジアムの設備改修に向けた設計業務を実施するほか、本部室エアコン修繕工事を実施します。セーリング競技の会場整備等については、県・競技団体との調整を継続して行っています。	財源	補助金	110万5千円
		市債	0
		使用料等	0
		一般財源	230万6千円



予算書P317 施設管理費(諏訪湖スタジアム費)
予算書P319 競技施設整備費

スポーツ教室開催事業	スポーツ課 こども課	事業費	265万6千円
スポーツ活動が身近に行えるような、各種スポーツ教室等を企画・開催します。 令和7年度は、就学前に運動習慣を身につけることを目的に、運動保育士の指導により基礎運動や運動模倣、とび箱、マット、鉄棒等の運動を行う運動あそびを、市立保育園で継続して実施していきます。 また、スポーツに親しむきっかけとなるよう、日本体育大学との連携協定を活用した事業や、託児付き教室を拡充します。	財源	補助金	0
		市債	0
		使用料等	24万7千円
		一般財源	240万9千円



予算書P147 保育所管理運営費
予算書P313 一般事業費(保健体育総務費)

学校施設

○ 学校施設の今後の方向性

- ・児童生徒がより良い環境のもとで安全に安心して学習できるように、計画的に学校施設の整備を進め、教育環境の充実を行う。
- ・「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
上諏訪小学校(旧高島小学校)	維持	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。
城南小学校	維持	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。
旧城北小学校	廃止	令和3年度中に、地元の方々と協議を行い、今後解体する方針を決定した。
四賀小学校	集約化	南部地区の施設一体型小中一貫校として再編整備を行う。
豊田小学校	維持	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。
中洲小学校	集約化	南部地区の施設一体型小中一貫校として再編整備を行う。
湖南小学校	維持	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。
上諏訪中学校	維持	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。
諏訪中学校	維持	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。
諏訪西中学校	維持	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画における学校再編の方針に基づいた施設整備を行う。
諏訪南中学校	集約化	南部地区の施設一体型小中一貫校として再編整備を行う。

【学習】基本方針⑧ 学校教育

『自らを拓き、未来を生きる子どもを育てる』



自ら学び、自らの力で課題に立ち向かう意欲を持った子ども、故郷への愛着を持ちながらも幅広い視野で考え行動できる子どもを育む教育を推進します。また、小学校と中学校における9年間の系統性・体系的に配慮した小中一貫カリキュラムを編成し、児童生徒の成長を支える仕組みを整えることで社会的自立を育む小中一貫教育を推進します。

拡充

未来創造ゆめスクールプラン事業		教育総務課		事業費		2,488万4千円
市内（東部・南部・西部）に3校の施設一体型小中一貫教育学校を配置する将来構想に基づき、南部地区の再編推進委員会における検討を踏まえ、基本構想を策定しました。令和7年度は南部地区における、施設一体型小中一貫教育学校の整備に向け、新校の敷地確保関連事業を進めるとともに、引き続き、全中学校区における施設併設・分離型小中一貫教育を推進します。 また、すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」第3期を実施します。		財 源	補助金			0
			市債			0
			使用料等			0
			一般財源			2,488万4千円





予算書P253 未来創造ゆめスクールプラン事業費

拡充

学校施設整備事業		教育総務課		事業費		3,723万7千円
未来創造ゆめスクールプランの進捗状況を踏まえ、学校施設の計画的な修繕を継続し、子どもたちが安全かつ安心して学校生活を送ることができるよう環境整備を行います。 令和7年度は、旧城北小学校解体に向けた実施設計のほか、上諏訪小学校の給食室給湯器修繕工事、湖南小学校地下タンク修繕工事、各校のトイレ洋式化や危険木等の伐採などを実施します。				財源	補助金	0
					市債	1,300万円
					使用料等	0
					一般財源	2,423万7千円

予算書P257 学校管理費(小学校費)

予算書P267 学校管理費(中学校費)

拡充

不登校児童生徒支援事業	教育総務課	事業費		1,315万7千円
		財源	補助金	357万2千円
市債	0			
使用料等	0			
一般財源	958万5千円			

不登校児童生徒の早期対応をはじめ、個々の状況に応じたきめ細やかな支援をするため、学校・家庭・関係機関との綿密な連携体制を整えます。令和7年度は、公民館の集約化に伴い、市公民館内に設置している諏訪市フレンドリー教室の移転に向けた準備を進めるとともに、学校内に設置している教育支援センターの充実を図ります。また、フリースクール等の利用料に係る補助を拡充します。	

予算書P271 不登校児童生徒支援事業費

観光施設

○ 観光施設の今後の方向性

- ・ 6割以上の施設が建設から30年以上を経過し、計画的な改修・更新が不可欠である。
- ・ ほとんどの施設は一定の利用があり、行政が関与する必要性が高いことから、原則として老朽化が進行している施設を優先的に改修・更新していく。
- ・ 諏訪湖間欠泉センターについては、整備した当初の設置目的から利用需要が変化してきていることから、「諏訪湖周サイクリングロード基本計画」及び「諏訪湖かわまちづくり計画」等の進捗にあわせ、足湯等の周辺施設も含めて今後の利活用について検討していく。

網掛けは、建物の取り壊し(除却)済

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
上諏訪駅前公衆便所	維持	関係機関と協議しながら、施設を維持管理していく。
諏訪高島城	維持	公開の終期を設定するとともに、保存方法について検討していく。
諏訪湖間欠泉センター	維持	「諏訪湖サイクリングロード基本計画」及び「諏訪湖かわまちづくり計画」等に基づいた施設整備を検討していく。
霧ヶ峰キャンプ場	検討中	観光グランドデザイン及びKRTプロジェクト等で検討していく。 (K:キリガミネ、R:リボン、T:タスクフォース)
霧ヶ峰スキー場(管理棟)	検討中	
霧ヶ峰公衆便所(スキー場前)	検討中	
霧ヶ峰高原公衆便所(インターチェンジ)	検討中	
霧ヶ峰市営第2駐車場公衆便所	検討中	
奥霧ヶ峰公衆トイレ	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
鎌ヶ池公衆便所	廃止(完了)	奥霧ヶ峰公衆トイレの供用開始後撤去。
車山肩公衆便所	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
守屋山公衆トイレ	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。

【産業】基本方針② 観光
『“SUWAらしい”があふれる観光地』



拡充

「諏訪湖の花火」ブランドの確立		観光課		事業費		950万円
「第77回諏訪湖祭湖上花火大会」を更に充実させるとともに、6年ぶりに、若手煙火師が伝統技術と革新的アイデアを融合させ繰り広げる「(仮称)2025全国新作花火競技大会」を開催します。予選会からファイナルまで打ち上げ日を分散するほか、予選会ではDXを活用したデジタル審査を導入するなど、新しいスタイルで「諏訪湖の花火」のブランド力向上を図ります。				財源	補助金	300万円
					市債	0
					使用料等	0
					一般財源	650万円
						

予算書P207 一般事業費(観光総務費)

【観光グランドデザイン・KRT関連】 霧ヶ峰宿泊付イベント誘客事業	観光課	事業費		264万円
		財源	補助金	0
			市債	0
			使用料等	0
			一般財源	264万円
KRTプロジェクトの一環として、地元との連携により霧ヶ峰で開催する「イベント」及び霧ヶ峰が関わる「イベント」参加者に対し、宿泊割引を実施します。霧ヶ峰を舞台に開催される様々なイベントを誘致し、宿泊誘客を図ることにより、観光、飲食、小売店等へ幅広い経済波及効果を生み出します。				

予算書P207 観光宣伝事業費

【KRT関連】霧ヶ峰リフト、キャンプ場事業	観光課	事業費		4,365万5千円
		財源	補助金	0
			市債	0
			使用料等	900万8千円
			一般財源	3,464万7千円
諏訪市直営による運営は、令和7年度末をもって終了とし、令和8年度からは、民間事業者の創意工夫による事業運営を目指し、指定管理者制度へ移行するための準備を進めます。 市が直営する最終年となる令和7年度は、必要な修繕を継続し安心安全な運営を行うと同時に、指定管理者により民間活力が最大限発揮されるよう、選定審査事務を進めます。				

予算書P213 施設管理費(キャンプ場費)

予算書P368 霧ヶ峰リフト事業特別会計

子育て支援施設

○ 子育て支援施設の今後の方向性

- ・ いずれの施設も耐震化を実施済み又は不要となっている。
- ・ 保育園については人口減少・人口構成の変化がもたらす保育需要量、地域バランス、質の高い保育の提供、多様な保護者のニーズに応えるために、公立保育園の機能及び役割を改めて見直し、推進する。

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
ふれあいの家	維持	地盤沈下の状況を見ながら計画的な修繕を実施する。
児童センター	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
片羽保育園	検討中	「諏訪市公立保育所の適正規模・適正配置及び民営化基本方針 ～“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プラン～」(保育所“笑顔プラン”)及び「諏訪市保育所民営化ガイドライン」に基づき、施設整備を行う。
洪崎保育園	検討中	
城南保育園	検討中	
中洲保育園	検討中	
こなみ保育園	検討中	
豊田保育園	検討中	
四賀保育園	検討中	
赤沼保育園	検討中	
神戸保育園	検討中	
角間川保育園	検討中	
きみいち保育園	検討中	
文出保育園	検討中	
城北保育園	検討中	
角間新田保育園	検討中	

【福祉】基本方針① 子ども・子育て『子育ての希望が叶い、子どもが幸せに輝く』



子育てに喜びが実感できる「子育ての希望が叶うまち」を目指します。妊娠から出産、子どもの自立まで、切れ目のない支援をつないでいくことで、未来を担う子どもたち一人ひとりが生まれ育った環境に左右されることなく、誰もが「幸せに輝けるまち」。そんな子どもと子育て家庭に優しいまちづくりを推進します。

拡充

“ひろがる笑顔” ゆめ保育所プランの推進	こども課	事業費	
		補助金	580万円
公立保育所の適正規模・適正配置及び民営化等基本方針を示した“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プランに基づき、将来を見据えた保育所の再編整備の推進及び環境構成を整備します。 令和7年度は、城南保育園の長寿命化改修の設計を行います。	財源	市債	580万円
		使用料等	0
		一般財源	0



予算書P147 保育所管理運営費

新規

育休退園制度の見直し	こども課	事業費	
		補助金	-
子育て家庭の支援及び子どもの発育の視点から、いわゆる「育休退園制度」を見直し、母親の産後期間(3か月)経過後、引き続き育児休業を取得する場合、保育園に在園している子の年齢に関係なく、保育園の継続利用が可能となるよう制度を見直します。	財源	市債	-
		使用料等	-
		一般財源	-
			-



拡充

こども家庭センター事業		こども課		事業費		347万7千円	
児童福祉と母子保健両方の機能を有する、こども家庭センター「すわ☆あゆみステーション」を中核として、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し一体的な相談支援を行っています。更に「あゆステ」の充実を図り、専門機関へのつなぎを含めて、様々な悩み等に応じた支援を推進します。		財源	補助金			36万2千円	
			市債			0	
			使用料等			1万2千円	
			一般財源			310万3千円	
							



予算書P139 こども家庭センター事業費

普通財産

○ 普通財産の今後の方向性

- ・ 除却対象施設については計画的に除却を進める。
- ・ 耐震診断を実施していない施設については、今後も中長期的に利用をしていく場合は耐震診断をし、計画的な改修・更新が不可欠である。
- ・ 貸付している施設については借主側の費用負担による診断について検討が必要である。
- ・ 未利用施設及び用地については、施設の状況及び立地等を勘案し有効活用を目的とした除却・譲渡等の検討を行う。

網掛けは、建物の取り壊し(除却)済

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
平林たい子記念館	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
旧ボーイスカウト事務所	廃止(完了)	使用しておらず、今後の利用も予定しないため、防火防犯上の観点から廃止。
旧諏訪高等職業訓練校	廃止	現在使用しておらず、今後の活用予定がないため、廃止する。
旧諏訪市湖南診療所	廃止(完了)	使用しておらず、今後の利用も予定しないため防火防犯上の観点から廃止。
ふれあい広場	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
くろみ台団地集会所	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
旧東洋バルブ諏訪工場	廃止	老朽化に伴う劣化の進行により、令和5年末に閉鎖した。
尚武館	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
霧ヶ峰除雪機格納庫	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
広域消防貸付建物	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
水戸代団地集会所	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
視石車庫	維持	借主と共同して維持管理を継続する。
西大手倉庫	維持	借主と共同して維持管理を継続する。

【参画協働】基本方針⑳ まちの賑わい創出
『集まる賑わい、つながる賑わい』



社会の変化に対応し、賑わいの創出を実現するには、異なる分野の連携により魅力的な都市機能を形成することが重要です。今後新たな時代に沿った賑わい創出の方法、多くの人を巻き込んでいける方法を模索し、新たな賑わいが生まれ続けるまちを目指します。

商店街活性化事業 (イベント補助・賑わい創出プロジェクト)		商工課		事業費		510万円	
商業者等の団体が、商店街活性化のために取り組んだイベント等に対し、その経費の一部を補助します。 賑わい創出プロジェクトが実施する中心市街地活性化事業に対する事業活動を補助します。				財 源	補助金	0	
					市債	0	
					使用料等	0	
					一般財源	510万円	
							

予算書P199 商工業振興事業補助金

駅前交流テラスすわっチャオ管理運営事業		生涯学習課		事業費		6,455万1千円	
地域住民や企業等が様々な活動に利用できるフリースペースのほか、コワーキングスペースによる起業支援、キッズスペースの運営、イベントやオンライン配信機材を活用した多世代の交流促進など、多くの人々が交流し、つながりを持ち、賑わいを創出する取組を進めます。				財源	補助金	0	
					市債	0	
					使用料等	907万4千円	
					一般財源	5,547万7千円	
							

予算書P309 管理運営事業費(駅前交流テラスすわっチャオ費)

諏訪湖イベントひろば整備事業		企画政策課 財政課		事業費		1,818万3千円
諏訪湖イベントひろば整備を上諏訪駅周辺の一体的整備に位置づけ、産業振興をはじめとして、駅周辺の賑わい創出、諏訪地域の魅力発信の拠点となるよう整備を進めます。 令和7年度は、令和6年度に実施した土壌調査の結果に基づき、所要の手続きを進めるとともに建屋の除却に向けて解体工事の設計を行います。				財源	補助金	0
					市債	1,630万円
					使用料等	0
					一般財源	188万3千円
						

予算書P81 一般事業費(財産管理費)

公設地方卸売市場

○ 公設地方卸売市場の今後の方向性

- 令和5年3月の市場審議会の答申を受け、令和7年3月末をもって廃止する。
- 廃止後の「新たな仕組み」導入に向け令和5年度新市場運営方針検討委員会を設置し以下の検討を行っている。
 - ①市場の運営形態(運営主体、法的位置付け等)
 - ②将来の利用予測に見合った施設規模
 - ③その他

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
公設地方卸売市場	検討中	令和7年3月末 廃止

建設課管理施設

○ 建設課管理施設の今後の方向性

- 自転車駐車場・自由通路においては駅や駅周辺の利用者に必要不可欠であるため、計画的な改修・更新により長寿命化を図る。

施設名	今後の方向性	基本的な考え方と進捗状況
土木センター	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
上諏訪駅霧ヶ峰口自転車駐車場	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。
上諏訪駅自由通路	維持	点検、改修等を計画的に行い、維持管理する。

【産業】基本方針②③ 商業・流通 『生活を支える、ホットする温かさ』



日々の生活、まちの賑わいなどを支えるのが商業・流通です。流通網や消費スタイルの変化により、諏訪市の商業にも大きな変革が求められています。消費者の利便性を向上させ、効率的な経営を促進することで、新たな時代を支える商業を実現します。

空店舗等活用事業補助金		商工課		事業費		250万円	
				財源	補助金	0	
					市債	0	
					使用料等	0	
					一般財源	250万円	
市内での創業意欲を高め、空店舗の有効利用とまちの賑わいを創出するため、空き店舗等を活用して新たに店舗を開店する事業者に対し、リノベーション等の改修に要する費用の一部を助成します。							
							

予算書P199 商工業振興事業補助金

店舗リフォーム補助金		商工課		事業費		130万円	
				財源	補助金	0	
					市債	0	
					使用料等	0	
					一般財源	130万円	
市内経済の活性化とまちの賑わいを創出するため、市内の登録施工業者を利用した既存店舗の魅力向上に資するリフォーム経費の一部を助成します。							
							

予算書P203 店舗リフォーム助成事業費

新規

食の供給機能を継承する 新たな仕組みへの移行		農林課		事業費		667万1千円	
				財源	補助金	0	
					市債	0	
					使用料等	667万1千円	
					一般財源	0	
令和6年度末で公設地方卸売市場は廃止となり、令和7年度からは民間を主体とする新市場が運営開始されます。 運営計画などを関係者間で協議の上作成し、安定的な食の供給機能が引き続き発揮されるよう必要な事務事業を行っていきます。							
							

予算書P191 市場管理費